

# 令和6（2024）年度 海外事務所事業実績

2025年12月  
国際交流基金

実施国・地域	共催/協力/支援団体	事業形態	事業名 (プログラム)	事業概要
韓国	・韓国継承日本語教育研究会	ネットワーク強化	継承日本語教育関連事業	韓国継承日本語教育研究会実施の事業助成を通して韓国の継承日本語教育機関のネットワーキング、勉強会、スピーチ大会等を実施した。
タイ	・タイにおける母語・継承語としての日本語教育研究会 JMHERAT	ネットワーク強化	初等教育・継承日本語関係	現地継承日本語教育関連の活動団体であるJMHERATと共に、保護者向けセミナー（対面）を実施。初等教育機関の機関訪問を実施した。
タイ	・JMHERAT	助成	小規模助成	さくらネットワーク非加盟機関向けの小規模助成プログラムを実施した。
ベトナム	・公益社団法人かめのり財団	教材制作	日本語教材制作（初等、中等国定日本語教科書作成・改定作業）	ベトナム教育訓練省による審査を経て、2021年発表「初中等教育における教育課程第一外国語の日本語カリキュラム」に基づく第1外国語としての日本語教科書『ほんご5（小学5年生）』が2024年度に出版され、小学校の第一外国語教科書が出揃ったことになった。この教科書出版にあたっては、ベトナム日本文化交流センター派遣専門家がベトナムの作成団体に執筆等多く協力し、またベトナム日本文化交流センターと公益社団法人かめのり財団と共同で執筆・出版にかかる資金提供を行うことで支援している（2025年3月をもってプロジェクト終了）。この教科書の出版により、既に第1外国語として日本語教育を実施する小学校3校における基盤が整うほか、他の小学校における日本語普及・拡充が期待できる。
オーストラリア	—	その他	継承語教育支援ネットワーク構築	「わたし語ポートフォリオワークショップ」をシドニー（参加約20名）、アデレード（同66名）、パース（同約40名）の3都市で教員向け、保護者・生徒向けと対面で行った。「わたし語ポートフォリオ」の使用を通じて保護者が子どものことばと向き合うための機会になった。その他、オンラインセミナー、情報発信、調査研究等の事業も継続して実施。
カナダ	・ケロウナ日本語学校 ・モンクトン日本語センター ・トロント日本語学校 ・モントリオール日本語センター ・JALTA日本語教育振興会	その他	現地助成（継承日本語扱い手支援）	継承日本語教育に関し、中核的扱い手を支援する助成事業を新たに開始し、イベント実施や教材購入支援を含む5件の助成を実施した。
カナダ	・日本語で育てよう！ ・さくら日本語学校	その他	子どもを対象とした日本語教育支援	共催や主催事業を通じて、セミナーや継承日本語教育を主眼とした絵本の朗読会を実施した。 ・「日本語で育てよう！」共催事業（ウェブサイト更新、セミナー） ・絵本作家 村中李衣氏、石川えりこ氏によるイベント ・親子向けお話し会 ・さくら日本語学校特別授業
カナダ	・モントリオール日本語センター ・西部日本語協会（どんぐりプリスクール） ・さくら日本語学校	その他	現地助成（子ども向け）	スピーチコンテストや給与助成を含む4件の助成を実施した。
米国	・Japanese Academy of the Rockies ・サンマテオ日本学園 ・オクラホマ日系支援会 ・Hokka Nichi Bei Kai・NCJTA ・おひさま ・ミシガン継承日本語センター ・プリンストン日本語学校 ・East San Gabriel Valley Japanese Community Center Gakuen ・ツーソン日本語補習校 ・金門学園 ・ワシントン継承センター ・キーストン日本クラブ ・モントレー日本語学校	その他	継承日本語教育支援	・地域別（中西部、南部、西部）に継承日本語学校、団体、保護者グループを対象にしたヒアリングを実施。各地で継承日本語教育関係者のネットワーク化を図り、より近隣の関係者間で情報共有ができるようオンラインのローカルコミュニティを立ち上げた。 ・2024年度から新たに実施している図書寄贈、イベント共催による継承日本語教育支援プログラムは申請数が10件から13件に増加し、特にこれまで支援の行き届いていなかった地方（オ克拉ホマ州、ロードアイランド州）の小規模な保護者グループも新たに支援することができた。

# 令和6（2024）年度 海外事務所事業実績

2025年12月  
国際交流基金

実施国・地域	共催/協力/支援団体	事業形態	事業名 (プログラム)	事業概要
メキシコ	–	その他	継承日本語教育	<p>①オンライン研修シリーズ「子どものための日本語教育を考えよう」 メキシコ、中米カリブ地域でも、年少者への日本語教育に対する関心は高く、2023年度に引き続き、2024年度も、継承日本語教育、年少者日本語教育に関するオンライン研修を開催した。今年度の第1回目は、カイロ日本文化センター作成の子どものための日本語教材『わくわくにほんご』のメキシコ版、アルゼンチン版について、第2回は、2023年度に日本語国際センターで行われた「日本につながる子どもの日本語教育関係者ミーティング」の参加者とともに「バックワードデザイン」に関する研修をPart 1, 2に分けて実施した。</p> <p>本研修シリーズは、当域の特性を考慮し、狭義での継承日本語教育だけでなく、広く「日本につながる子ども」の日本語教育に関わる人たちを対象としている。各回のテーマと、実施時期、参加人数は以下の通り:</p> <p>【第1回】『わくわくにほんご』 2024年5月参加人数 83人</p> <p>【第2回】「バックワードデザインで授業を組み立てよう」Part 1 2024年9月参加人数 44人 「バックワードデザインで授業を組み立てよう」Part 2 2024年10月参加人数 30人</p> <p>メキシコ、中米カリブ地域以外にも、アメリカ、ブラジル、アルゼンチン、ペルーなど北米、南米や、エジプト、カンボジア、インドなどからの参加者もあった。</p> <p>②継承日本語教育支援事業：「日本につながる家族のための社会見学」 メキシコ日本文化センター主催、メキシコ観光共催、メキシコ日清の協力を得て、「日本につながる家族のための社会見学」を開催した。日本につながることとその保護者で、メキシコ日清を訪問し、カップラーメンの歴史や製造工程などについての学習や、オリジナルカップヌードル作りなどを行った。参加者数は、子ども10名、保護者10名の20名であった。</p> <p>③継承日本語教育支援事業：「日本につながる家族のための航空教室」 2023年度に引き続き2024年度も日本航空の協力を得て、日本につながる子どもの日本語使用・日本語学習の機会と、日本につながる家庭同士の交流の機会をつくることを目的として、「航空教室」を開催した。内容は「客室乗務員の方によるワークショップ」「折り紙ヒコーキ教室」を中心とした。参加者数は、午前の部、午後の部を合わせて53人（子ども24人、保護者29人）。</p> <p>④継承日本語教育支援事業：「子ども図書館」 国内の多言語家庭に、絵本・児童書を貸し出すことにより、継承日本語教育を支援する事業。メキシコシティ以外の利用者の貸出に伴う配送費用は基本的にメキシコ日本文化センターが負担。 現在、子ども図書館の貸出図書は、2021年度「子ども図書海外事務所配置・日本語教育団体貸与事業」としてJFメキシコに配置された128冊と、同年度「日本の児童書紹介プロジェクト」として同様に配置された55冊を中心に、追加購入分も合わせて、計309冊である。2023年度には、対象者、利用者の声を受けて、子ども図書館の蔵書の多くを開架にし、貸出のシステムも利用しやすいものに改善を図っている。2024年度の子ども図書館の利用者数は約266名、貸出冊数は595冊と、2023年度と比べて増加した。</p>
ブラジル	–	ネットワーク強化	南米子ども日本語教育ネットワークの集い	南米で注目を集めている子どもへの日本語教育を中心とした集いを開催（オンライン）し、子どもの成長と育成に関わる日本語教育（継承語を含む）について考える場を提供すると同時に、南米日本語教師間のネットワーク拡大を図った。
ブラジル	–	その他	ブラジル日本語教育110周年セミナー	ブラジル国内において、日本の学校として初の政府認可校である「旧大正小学校」の創立110周年イベントとして実施した。ブラジル国内の大学・教育局・公教育機関・私立教育機関の関係者をサンパウロに招待。
ブラジル	–	その他	ブラジル継承語教育シンポジウム	ブラジル国内において、日本の学校として初の政府認可校である「旧大正小学校」の創立110周年イベントとしてシンポジウムを実施。ドイツ語・イタリア語の継承語研究者を招き、他言語の継承語の実情を参考に今後の日本語継承語教育の課題を探った。

# 令和6（2024）年度 海外事務所事業実績

2025年12月  
国際交流基金

実施国・地域	共催/協力/支援団体	事業形態	事業名 (プログラム)	事業概要
英国	・国際小嘶合同発表会	ネットワーク強化	日本語教育ネットワーク強化事業	日本語教育関係者間を対象とした継承日本語教育にも資するコンテンツを通したワークショップ・ネットワーキングイベントを開催した。
英国	－	学習者奨励	小中高生対象のスピーチ・ビデオコンテスト	小中高生対象のスピーチ及びビデオコンテストを実施した。
英国		アドボカシー活動	アドボカシー活動	在英國日本大使館事業の場で、英國における日本語学習振興を目的とした、学習者や関係諸機関に対するアドボカシー活動（継承日本語教育に関する事業を含む）を実施した。
英国	・ヨーロッパ日本語教師会	助成	海外事務所助成	英国内さくらネットワーク加盟6機関（英國日本語教育学会（BATJ）、イーストアングリア大学、エдинバラ大学、カーディ夫大学、ダートフォードグラマースクール、ニューカッスル大学）及びヨーロッパ日本語教師会に対する助成（継承日本語教育に関する事業を含む）を実施した。
英国	・Brighton and Hove Japanese Club ・えびす塾 ・おひさまあはは	助成	海外事務所助成	英国内の当該機関が実施する日本語教育事業に対する助成（継承日本語教育に関する事業を含む）を実施した。
スペイン	－	教師研修	日本語教育及び継承日本語オンライン研修	日本語教育及び継承日本語オンライン研修として、継承語関係者も対象にした「日本語多読のはじめ方」研修を実施した。
スペイン	・スペイン日本語教師会 ・バルセロナ日本語補習授業校 ・リスボン日本語補習授業校	学習者奨励	継承日本語関連ワークショップ	①スペイン日本語教師会と共に、「オンライン 子どもの日本語に関する座談会」を4回実施した。 ②バルセロナ日本語補習授業校およびサラマンカの継承語グループで多読ワークショップを実施、またその他各地で多読ワークショップを実施した。
パリ	外部講師との共催	講座運営	日本語講座運営	継承日本語教育に係る取り組みとして、主に小学生を対象とした講座「漢字であそぼう！」を実施した。継承日本語学習者にとって障壁となりやすい漢字を楽しみながら学べる機会を提供した。
ドイツ	・チーム・もっとつなぐ	その他	継承日本語教育支援 わたし語ポートフォリオ普及事業	ケルン日本文化会館が「チーム・もっとつなぐ」と共同で運営しているポータルサイト「つなぐ」内で公開している「わたし語ポートフォリオ」（「チーム・もっとつなぐ」が企画・制作・運営）の運営管理および普及を行った。
ドイツ	－	その他	継承日本語教育支援 日本文化体験講座	日本語使用および日本文化体験の機会が限定的である補習校、継承日本語教育実施団体、その他日本語教育機関の生徒等を対象に、ケルン日本文化会館のリソースを利用した文化体験講座を実施した。
ドイツ	－	その他	継承日本語教育 運営者会議	2023年度の補習授業校状況調査の結果、継承日本語教育実施機関の間のネットワークがなく、各校同様の課題を孤軍奮闘して対応している状況であると分かったことを受け、日本語補習授業校の運営者を一堂に集め、研修とともに情報交換を実施した。10校が参加し、参加者が各校の事情や状況を知り合う場となり、具体的な解決策を実践している学校からヒントを得、意見交換が活発に行われるなど、関係者間のネットワーク作りに寄与した。
ドイツ	－	その他	継承日本語教育 教材助成	教材へのニーズが高い補習授業校8校に対し、教材助成を実施。補習授業校からは、新規図書で児童生徒の日本語・日本文化への興味を惹きだしている、魅力的な学校づくりに役立っている、授業で使える新しいアイデアが得られるとの声が寄せられた。

## 令和6（2024）年度 海外事務所事業実績

2025年12月  
国際交流基金

実施国・地域	共催/協力/支援団体	事業形態	事業名 (プログラム)	事業概要
エジプト	-	講座運営	年少者夏期短期講座	小学生・中学生を対象とした日本語・日本文化講座の開催。
エジプト	・エジプト教育・技術教育省（Ministry of Education and Technical Education） ・Project Management Unit 国際協力機構（JICA）エジプト事務所	教師研修	エジプト日本学校（EJS）教師日本語基礎研修	日本式教育を行う公立初中等教育機関であるエジプト日本学校（EJS）の教員ら50名を対象に、課外活動等での児童への基礎的な日本語や日本文化の紹介を想定した5日間の基礎日本語研修を集中的に実施した。2023年度参加者による研修内容の現場での実践報告やEJSで活動するJICA協力隊員との協同活動を新たに加えて研修内容を充実させた。 また、過去2回の「エジプト日本学校（EJS）教師日本語基礎研修」の参加者の中から希望者をカイロ日本文化センター日本語講座受講生として受け入れた。
エジプト	・エジプト日本学校	学習者奨励	奨励イベント	カイロ日本文化センターが制作したことも向けの日本語教材『わくわくにほんご』の使い方を紹介する動画をエジプト日本学校での模擬授業実施とその撮影の協力を得て作成。